

平成 28 年 4 月 25 日
一般社団法人日本農業機械化協会

1. 目的

中古農業機械査定士制度（以下「査定士制度」）における技能検定試験の受検に必要な中古農業機械査定士講習（以下「査定士講習」）の講師を養成する枠組みについて本要領で定める。

2. 講師養成研修（要点）

- (ア) 実施回数：原則、年間 1～2 回
- (イ) 研修時間：原則、2 日間とする（模擬試験含む）。
- (ウ) 開催場所：原則、東京近郊とする（都度、決定する）。
- (エ) 旅費・教材（テキスト）・講師謝金等：受講者負担とする。
- (オ) 会場設営等： 全国対象の研修は全国団体が設営する。
- (カ) 教材： 査定士講習用教材のほか農業機械化及び中古査定士に関する資料。

3. 受講者（査定士講習会の講師候補者）

査定士制度の中古農業機械査定士技能検定委員会（以下「検定委員会」）委員及び当該県の査定士協議会が推薦する者。（様式は別紙）

1) 考え方

- ① 各県の査定士講習の講師を努めるに相応しい意欲・能力・実績を持つ者。
- ② 各県で公平公正な査定士養成指導者として信頼を集めると期待できる者。
- ③ 推薦書に推薦理由を記載し職務経歴書を沿えて下さい。

2) 対象者

- ① 査定士講習を修了し検定試験に優秀な成績を収めた者、特に査定実技に優れた者。
- ② 以下の組織に所属し対象 3 機種の販売整備に携わった期間が通算 3 年以上の者
 - (ア) JA 全農、県経済連、県 J A 及び県本部
 - (イ) 全農機商連及び傘下の県農機商協
- ③ 販売整備業者（県商協組合員）の中古・整備指導部門に携わり内外の信頼を得ている者
総合メーカー 4 会員の社員、傘下の農機販売整備会社又は教育研修機関の社員
- ④ 農業の行政や研究、普及機関で農業機械化行政に一定期間以上携わった者

4. 講師の認定基準

- ① 受講推薦理由、職務経歴及び講師養成研修の模擬試験（3機種の実技を含む）結果を総合評価し、査定士制度を十分理解し査定士講習の講師として適任と判断できる者。
- ② 査定士制度の創設に携わり制度内容を十分に理解している者
 - (ア) 中古農業機械技能検定委員会委員
 - (イ) 中古農業機械査定士講習のテキスト編集委員等

5. 講師の認定（認定証の発行）

中古農機査定士制度講師認定証を発行する。

- (1) 協会は、上記4の合格者に付与する。任期は3年とする。
なお、講師認定証は査定士証を兼ねないこととする。
- (2) 講師認定証の継続希望者は満期前に講師更新講習を修了しなければならない。
なお、3年間、講師活動を行わなかった講師には更新交付しない。

6. 講師の責務

講師は、日頃より以下に努めるものとする。

なお、査定士講習会の講師を務めた際には謝金を受け取ることが出来る。

- (1) 査定士講習会受講者に査定士制度の要点を的確に講習できるよう研鑽するものとする。
- (2) 中古農業機械に関する状況の変化を把握し制度改善を提言するものとする。
- (3) 中古農業機械の適切な価格形成と市場の健全な発展に資する検定試験問題を提案するものとする。

7. 当面の講師

第Ⅰ期査定士講習は、講師養成研修を十分に実施できないため、協会は、以下に該当する学識経験者又は協会役職員を当該県の査定士講習会へ派遣する。

- ① 農業機械化全国団体又は中央行政・研究機関の専門家。
- ② 上記に準ずる中立者であって中古農業機械査定士制度検定委員会の賛同が得られる者。

8. 要領の運営

本要領の改廃は、中古農業機械査定士検討委員会が検討し承認する。

以上

受講生推薦書

中古農業機械査定士制度の講師養成研修にあたり下記の者を受講生として推薦します。

記

1. 氏名・生年月日・年齢・現住所
2. 所属機関・役職
3. 所属機関の所在地・連絡方法
4. 職務経歴（農機販売整備業務の内容とその勤務期間等について）
（別紙）
5. 賞罰（一般社会人としてのもの）
6. 推薦理由（簡潔にお願いします。）

以上

平成 年 月 日

中古農業機械査定士制度検定委員会委員

〒 ー 住所

氏名

印

職務経歴書

平成 年 月 日現在		写真を貼る位置 1. 縦 36～40 mm 横 24～30 mm 2. 本人単身胸から上 3. 裏面にのりづけ 4. 裏面に氏名記入
ふりがな	男・女	
氏名	印	
ふりがな		
現住所	〒	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 満 () 歳	(自宅電話)
E-mail	(個人)	
自宅	線 駅	(携帯電話)
最寄駅	バス 停留所	

(※太線枠内本人自筆)

ふりがな		
所属 団体名		
部署		
役職		
ふりがな		(電話)
住所	〒	(ファックス)
E-mail	(所属先)	

《学歴》※農畜林業や農機・建機・自動車に関連する学科等では、記憶に残る取得内容を略記してください。

年	月	学歴 (中学卒業とそれ以降)

《職歴》※主な従事業務には、特に農畜林業や農機・建機・自動車の関連業務を記入してください。

所属・役職	期間	主な従事業務
(例) 〇〇会社▽▽部△△課 課長	〇〇年△△月～□□年××月 (▽年※ヶ月間)	社内の農業機械整備研修制度の構築 社内の農業機械整備研修の講師

《資格技能》 ※これまでに取得した農畜林業及び農機・建機・自動車などに関連する資格を記入してください。

年	月	免許・資格